

# 地球温暖化防止に 取り組みませんか

市内の温暖化対策を紹介します

地球温暖化は  
どうして起きたの



産業革命以降、化石燃料の使用や森林の減少などにより、大気中の二酸化炭素濃度は増加し続けています。二酸化炭素などは、地球の外へ熱が逃げないようにする効果があり、このような気体を総称して温室効果ガスといいます。

地球温暖化の主な原因は、この温室効果ガスの増加だと考えられています。温室効果ガスは、生き物が暮らしやすい気温を保つため適度に必要ですが、多すぎると地球の温度が必要以上に上がってしまいます。

地球温暖化の影響の  
一例を教えてください



- 海面が上昇する
- 島が沈む

・浅瀬の生き物がすみかを追われる

●生き物の生態が変わる

- ・作物の育つ場所が変わる
- ・絶滅する生き物が出てくる

●異常気象が増える

- ・集中豪雨が増える
- ・干ばつが増える

市の計画における二酸化炭素の削減目標は



『登別市温暖化対策実行計画（区域施策編）』では、平成25年度の市全体の二酸化炭素総排出量を基準とし、平成42年度までの17年間で、総排出量を26割（4万1千139ト）削減することを目標としています。

1年当たりの削減量



市全体で4万1千139トの削減に取り組むため、市民や事業者で、それぞれ1年当たり表に記載の量の削減

を目指します。

1891年の統計開始以降、世界の年平均気温は増加の一途をたどっており、この地球規模の気温の上昇を『地球温暖化』と呼んでいます。地球温暖化は、地球環境にさまざまな悪影響を及ぼすため、世界共通の問題となっています。かけがえのない地球を次代に引き継いでいくためには、私たちが積極的に温暖化対策に取り組んでいく必要があります。

今号では、市民や事業者の皆さんと温暖化対策に取り組んでいくために策定した『登別市温暖化対策実行計画（区域施策編）』の目標値などを説明するほか、市内で行われている温暖化対策の取り組みを紹介します。

1年当たりの二酸化炭素  
削減量の目安

区分	削減量（キログラム）
市民の取り組み	726,000
運輸関係事業者の取り組み	678,000
その他の事業者の取り組み	1,016,000
合計	2,420,000

1年・1世帯当たりの  
削減量の目安は



市民1年当たりの削減量は、72万6千キログラムです。平成29年1月末現在、市内には2万4千899世帯ありますので、1年で1世帯当たり29キログラムの削減が目安となります。

例えば、冷蔵庫に物を詰めすぎないようにすると、1年間で30キログラムの削減効果があります。

二酸化炭素を削減  
するための行動例  
事業者の方



- 資料などを印刷するときには両面印刷して紙を節約するなど、ごみの排出抑制に努める。
- 昼休みに消灯するほか、ノー残業デーを設定するなど、省エネルギー化への取り組みを行う。
- クールビズやウォームビズを奨励し、冷暖房の使用量を減らす。
- パソコンは省エネルギーモードで使用し、使わないときは電源を切る。
- 各種施設でLED照明に取り替えるなど、各種省エネルギー設備を導入する。
- 省エネルギー基準を満たした電気製品を導入する。
- 建築物を新設・改築する場合は、高断熱化に努める。